

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

三井金属鉱業株式会社竹原製煉所

(2) 事業所の所在地

広島県竹原市塩町一丁目5番1号

(3) 業種

その他の非鉄金属第2次製煉・精製業 (23.29)

2 計画の期間

本計画の期間は、平成2年度を基準年度とし、平成23年度から令和2年度までの10年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a) 平成2年度	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c) 平成32年度	計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
			平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
エネルギー 起源CO ₂	131,240	98,430 (25.0)	73,051 44.3	79,210 39.6	93,764 28.6	92,543 29.5	91,160 30.5
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計	131,240	98,430 (25.0)	73,051 44.3	79,210 39.6	93,764 28.6	92,543 29.5	91,160 30.5
温室効果ガス みなし排出量							

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a) 平成2年度	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c) 平成32年度	計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
エネルギー 起源CO ₂	131,240	98,430 (25.0)	93,288 28.9	90,742 30.9	84,872 35.3	82,420 37.2	100.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計	131,240	98,430 (25.0)	93,288 28.9	90,742 30.9	84,872 35.3	82,420 37.2	100.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	目標に対し削減ができています。						

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 生産量(t)

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a) 平成2年度	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c) 平成32年度	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d), 下段：削減量の対基準年度比 (e))				
			平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
エネルギー 起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費原 単位 (原油換算 kl)		0.0	1.049	1.004	0.9132	0.9077	0.9648

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a) 平成2年度	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c) 平成32年度	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d), 下段：削減量の対基準年度比 (e))				
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
エネルギー 起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費原 単位 (原油換算 kl)		0.0	0.9508	1.024	0.9928	1.019	0.0
実績に対する 自己評価	基準年度 (平成2年度) と操業形態が大きく変化し比較できません。						

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	電気使用量の削減	100MWh/年	MH3号アニール炉の遮熱シート張りによる電力原単位低減
2	鉛丹工程 灯油 電力原単位削減	原油換算削減量 51.0 kL	①鉛丹連続炉保温条件見直し (2017 430℃ 2018 415℃ 2019 350℃) ②操業条件見直し (2、3号)
3	パッケージボイラの更新	A重油削減量 10kL/年	老朽化更新 1%の燃焼効率改善となった
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み (環境価値の活用等)

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。